



● 会長報告

会長 神名 大典

龍野ロータリークラブは2市1町という2680地区で一番広いテリトリーを持つクラブです。瀬戸内海から岡山県、鳥取県にも隣接するという多様な環境の中1959年4月1日に設立されてより60年以上の歴史をつないでまいりました。

本年度RI会長 シェカール・メータ氏のテーマは **SERVE TO CHANGE LIVES「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」**です。「人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方、なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから」と述べられています。

また、第2680地区ガバナー 吉岡博忠氏のテーマは **For the dynamic Leaders of futures with Rotary「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」**です。

つまり慈善事業をやるという事だけではなく、ロータリーの奉仕の心を作ることにより、ロータリーが身に付き、自身の倫理を高め、高潔な人格を作ることが出来るということだと思っています。

これを受けて今年度の会長方針を二宮尊徳翁の言葉から、「心の田畑を耕そう」とさせていただきました。COVID-19の影響により疲弊した心を耕し、空気と養分を取り入れ、肥沃な心を取り戻す一年にしたいと思います。

また、「心田を耕す」の語源を調べてみると、お釈迦様が托鉢をして回っているときに、農耕者から、「私は田を耕し、種をまいて食を得ている。あなたも田を耕し、種をまいて食を得てはどうか。」と問われ、「私が耕しているのは、人々の心の荒れ地です。」と、答えたことに端を発しているようです。ロータリークラブの活動も直接的には社会生活に影響を与えているようには見えな部分もあると思われませんが、我々はメンバーひとりひとりの「心田を耕す」活動をしていると思います。ロータリアンが耕された心で社会生活を行うことにより、よりよい社会が実現できると信じています。

上記の観点に立ち今年度は以下を重点事項としています。

- 例会を意義ある楽しいものにし、「来てよかった・有意義だった」と思える例会にする
- 創立以来の「親睦こそ我がクラブ」の精神に則った親睦活動に力を入れる
- 会員増強・退会防止に努める



● 委員長報告

クラブ奉仕委員会 委員長 本 條 昇

1. 基本方針

魅力あるクラブ、充実した例会とは。その核心は我々が思う「ロータリーらしさ」にあるはずです。

先達いわく、「例会は人生の道場」「入りて学び、出でて奉仕せよ」「心の友を得て、以て奉仕

の契機と為す」と。ロータリーの本義は「人づくり」、即ちメンバーの相互作用による内面の洗練にあります。

当委員会ではクラブを「学び舎」と位置づけ、クラブ創立以来のモットーである「親睦こそ我がクラブ」、そして神名会長の「心の田畑を耕そう」の理念のもと、親睦の内に心の涵養が為されるようなクラブ運営を目指します。

2. 活動内容

- (1) 当委員会は上記基本方針のもと、クラブ奉仕（Club Service）並びにクラブ管理（Club Administration）に関する事項全般について企画運営を行います。
- (2) クラブ奉仕の各特定分野については、当委員会に設置されている次の5委員会が個別に、若しくは連携して活動します。各委員会の活動内容はそれぞれ別途報告の通りです。
 - ・例会担当委員会
 - ・会員増強委員会
 - ・親睦委員会
 - ・広報委員会
 - ・情報委員会
- (3) クラブのビジョンと中期運営計画の立案に取り組みます。
- (4) 2022年4月予定の規定審議会の決定に対応して、クラブ諸規定を見直します。



● 委員長報告

職業奉仕委員会 委員長 高田 真也

今期は「あらゆる可能な機会を捉えて職業奉仕を学びます」という基本方針のもとで、次のような活動を行って参ります。

- (1) 各月第二例会、第三例会において、「4つのテスト」「ロータリーの行動規範」の唱和をして、より一層職業奉仕への理解を深めます。
- (2) 職場例会を10月21日に実施します。奉仕の理想が実践されている企業・団体を訪問し職業奉仕を学びます。
- (3) 2021年1月20日に職業奉仕委員会アワーを開催いたします。
- (4) 地区職業奉仕セミナーに参加致します。

この中で本日は10月21日に予定しております職場例会の話をしたと思います。今回はJA兵庫西のライスセンターを訪問し播州の農業を勉強した後でカマドで炊いた新米を試食しようと計画しています。龍野ロータリーには農業のメンバーがおりませんので、皆さんにも楽しんでいただけたかなあと考えております。

職業奉仕はロータリーの一丁目一番地とおっしゃる方もいて、龍野ロータリーのメンバー全員が各々職業奉仕観をお持ちであると思います。

私自身は職業奉仕とは、自分の仕事を一所懸命にすることを通じて、関係者全員をハッピーにすることであると考えております。それは、取引先に儲けてもらい、従業員を雇って給料を払い、地域に貢献して、自社も利益を出して税金も払うことだと思っております。職業人の数だけ職業奉仕があるでしょうから、私は他のメンバーの仕事の話を聞くのが大好きなのであります。

以上で報告を終わります。



● 委員長報告

社会奉仕委員会 委員長 伊藤 充 弘

社会奉仕委員会では、龍野クラブにおいて継続的な社会奉仕事業が実施される仕組みを作るということを基本方針と致しました。

昨年度にガバナー補佐を経験させていただき、西播第二グループの活動内容だけでなく、第2680地区内の多くのクラブの活動状況を知ることができました。その時に気づいたのは、龍野クラブにおいては社会奉仕事業がほとんど実施されていないということでした。

昨年度「グループフェスタ」として社会奉仕事業の実施がガバナー方針として掲げられ、当グループでは青少年の健全育成を目的に、龍野高校で講演会を実施しました。その時の経験を活かして、地区補助金を活用した社会奉仕事業が実施できるよう仕組み作りを進めてまいります。

その対象として、何年も前から計画されてきております「防犯カメラの設置」をテーマとして、次年度にはしっかりと実施できるよう準備を進めております。

現在の進捗状況ですが、9月9日の例会において委員会アワーとして「地区補助金の活用手順」をメンバーに説明させていただきました。また、8月19日に開催されました「警察官友の会」の会合において龍野警察署長をはじめ幹部の方々と交流し、防犯カメラ設置事業計画への協力を頂けることになりました。とりあえず生活安全課が窓口になってくださっていて、設置場所や防犯カメラとしての必要な機能など、交通課と刑事課から情報を取ってくださっているところです。

補助金申請をする場合には「合い見積もり」をする必要があるのですが、今は楽天やアマゾンで検索しているところです。設置場所が決まれば、当該自治会や周辺住民からの同意の取り付けなど、手間のかかりそうな仕事がありますので、それについても手順などを作っていく予定をしています。

もう一つの懸案事項であります当クラブが設置したモニュメントへの対応につきましても、協力いただけるという話になっております。これにつきましては、昨年度の高田委員長が見積もりや資料をまとめてくださっておりますので、現状を再確認後に必要なら予算化したいと考えています。

ロータリーの公共イメージの向上として参加を予定していましたが、たつの市の市民祭りは中止となり、今年度は見送りいたします。代替処置として、防犯カメラの設置をマスコミにニュースリリースを送り、新聞記事等で掲載していただけるよう活動したいと考えています。

以上



● 委員長報告

国際奉仕委員会 委員長 富田 哲 雅

1. 基本方針

2020年1月に武漢で発生した新型コロナにより、世界は、人流が大きく損なわれ、国際間の交流や活動が縮小する事態を経験しました。これに対してリモートやDX等を利用した新常态（ニューノーマル）が現れ、拡がりましたが、ロータリーの奉仕活動は大きな制限を受けました。

このような環境下で、ロータリーの国際奉仕の7つの重点分野、即ち①平和構築と紛争予防②疾病予防と治療③水と衛生④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥地域社会の経済発展と今

年度から追加された⑦環境の7つを目的にした国際奉仕を実践することは困難ではありますが、当年度の国際奉仕委員会は「コロナ禍でもできること」に専念する方針で、今だからこそ、国際的な友情と相互理解に基づく世界平和の価値を再認識し、ロータリーの目的である国際理解、親睦、平和の推進を基本として、以下の事業の推進に努めます。

2. 活動内容

- (1) 地区国際奉仕委員会活動に協力する。
- (2) グローバル補助金を活用する国際奉仕プロジェクトを検討する。
- (3) 世界理解月間の2月24日に、たつの市多文化共生サポートセンターの協力を得て例会を開催し、地域の外国人在住者の理解から国際奉仕について考える契機を創る。
- (4) コロナ禍で、在日外国人や留学生の方々との効果的な交流を推進する。
- (5) 国際奉仕セミナーに参加して、国際奉仕について理解を深める。



● 委員長報告

財団委員会 副委員長 藤井 まゆみ

活動内容といたしましては11月11日の財団委員会アワーで、地区の財団委員に卓話をいただき、財団の最新情報について理解を深めます。

年次基金への寄付は\$160/人以上を目標に募ります。当クラブのロータリー財団への寄付額は、2021年6月現在324,698\$です。

ポリオ撲滅活動に関しましては、感染が続くアフガニスタンとパキスタンにおけるポリオ根絶のため\$30/人以上の寄付を募りポリオフリーを目指します。

米山記念奨学会活動に関して

- ① 米山月間（10月14日）に米山奨学生をお招きしてスピーチをいただき、米山記念奨学会事業への理解を深めます
- ② 今年はZoomによるオンラインでの卓話となります。
- ③ 卓話者：許金ヨウ（シュキンヨウ）氏
同行者：近知史 カウンセラー
世話クラブ：尼崎東ロータリークラブ
- ④ 9月12日（日）米山記念奨学セミナー（オンライン）に参加しました。
時間は午後2時～4時過ぎまでで180名余りが参加しました。
オンラインでも奨学生の現在の活動や心境を聞くことが出来て、彼らの熱意が伝わってきました。10月14日の米山月間のZoomによる卓話も奨学生の熱意の伝わる有意義なものになると確信いたしました。



西播第二グループガバナー補佐 大岩 敏彦 様

龍野ロータリークラブはたつの市、宍粟市、太子町の三つの市町が合わさり2680地区で一番広いテリトリーを持っています。合わせた人口は約14万人、面積は890km²で西播第二グループ内では人口も面積も第1位です。人口密度の高い地域もあれば低い地域もあり、山もあれば海もあり多様性に富んだロータリークラブです。1959年4月1日の創立以来、「親睦こそ我がクラブ」の精神に則り、会員の家族や地域住民との親睦も計り共に奉仕活動に尽力されておられます。吉岡ガバナーのテーマ「For the dynamic Leaders of futures with Rotary (ロータリーと共に活力に満ちたリーダーを育てるために)」を受けて、神名会長は「心の田畑を耕そう」を活動方針にされました。COVID-19により疲弊した地域、仕事又、人心を耕して新しい空気と養分を取り入れ肥沃な社会を取り戻す事を目指しておられます。大変素晴らしいことです。又、龍野ロータリークラブは本来日本人が持っている伝統を強く感じます。それは、戦後に活躍された「白洲次郎」の信念である「プリンシパル」「原理原則」他におもねることもせずに筋を通すことを大事にする。この様な「行動規範」を持ったクラブだと感じました。これからも「親睦こそ我が命」を中心に据えてロータリークラブ活動を楽しんでいきましょう。本日はありがとうございました。

